# 伐採材の一般配布について

益田県土整備事務所 加藤章子

工事に伴い発生する伐採材の処分については、再資源化・コスト縮減が重要な課題であり、その方法として、現地破砕(チップ化)して現場内利用することが多いのではないかと思います。

現在、再開発工事中の笹倉ダムの貯水池内面積は約45,000m2、およそ4,500m3の伐採材が発生します。現場内利用を検討しましたが、現場周辺でのヤード確保が困難であること、処分するよりもコストがかかること等から、チップ化は断念せざるを得ませんでした。

このため、少しでも再資源化・コスト縮減になり、またダム事業のイメージアップになればと、伐 採材を一般の方に配布することを試みました。

#### 〇 第1回

期間:平成18年3月6日~10日(平日5日間)

場所:ひだまりパークみと スポーツ交流広場駐車場

方法: 伐採材は直径10cm 以上のものを長さ1.8m程度に

小割して平積み

募集期間を設け事前予約制とした(配布場所には職員が

立ち会い)

結果:5日間で延べ26人の方に約130m3配布

#### ○ 第2回

期間:平成18年5月13日~14日(休日2日間)

場所:ひだまりパークみと スポーツ交流広場駐車場

方法: 伐採材は直径5~25cm のものを長さ1.8m程度に

小割して平積み

事前予約制をとりやめ、先着順に配布とした(配布場所

には職員が立ち会い)

結果:2日間で延べ40人の方に約60m3配布

#### ○ 第3回

期間:平成18年7月5日~14日(10日間)

場所:益田川ダム ダムサイト駐車場

方法:伐採材は直径5~25cmのものを長さ1.8m程度に

小割して平積み

期間内に自由に取りに来てもらう(職員は立ち会わず、

配布場所の清掃は引き取りに来た人で行う)

結果: 開始3日間で全て配布(約60m3)

※ 第1回及び第2回の配布概要については別紙をご覧ください。





利用目的を尋ねたところ、お風呂やストーブ等の薪として使用される方が多く、木の種類によってはキノコのほだ木にするという方もおられ、想像以上に需要が多いことが分かりました。

また、なかには自治体の助成事業で炭窯や五右衛門風呂を造るため、という自治会・NPOの方も何人かおられました。

このように、木材を引き取り使用してもらえる施設・団体等の情報を共有化することができれば、 再資源化あるいはコスト縮減に役立つのではないかと思います。

# その1

# 伐採木の一般配布終了報告

笹倉ダム再開発工事に伴い、貯水池内の立木を伐採することとなり、伐採材を大量に処分する必要が生じた。

このため、資源の有効活用・処分費用の削減・工事のイメージアップ等を兼ねて、伐採材の一部を一般の人に配布することとした。



#### 〇配布方法〇

募集期間:2月22日(水)~3月1日(水)

配布期間:3月6日(月)~10日(金) AM 9:00~PM 4:00 配布場所:ひだまりパークみと スポーツ交流広場駐車場 (末口10㎝以上の幹材(L=1.8m)を、配布場所へ高さ1㎜程度に平積み)

- ・配布希望者は募集期間中に希望数量、引取り日時を連絡
- 積込み、運搬作業に係る費用は希望者が負担

(職員は立ち会うが、基本的に作業の手伝いはしない)

←左のポスター及び案内ビラを益田市内の各地区振興センター (全20箇所)に配布し、引取り希望者を募ったところ、26名の方から応募があり、約130㎡の伐採材を配布することができた。

## 〇配布状況〇







伐採木の使用目的

シイタ

ケ等の

ほだ木

炭焼き 垣根

薪(風呂)

, 薪(ス

トーブ)

伐採木の使用目的を尋ねたところ、キノコのほだ木、風呂焚き用の薪とする人が最も多かった。

中には家の垣根を造るという人や、子供たちの体験学習用に使用したいという人など、想像以上に幅広い使い道があることが分かった。 また、多くの人が次回の配布を希望され、需要があることが判明した。

# 〇今後の課題〇

今回、配布期間を平日5日間としたが、

- ①積込みの際職員が立ち会うこととしたため負担が大きい
- ②会社勤めの人が引取りに来づらい
- ③配布場所の確保が困難

#### という問題があった。

今後同様の企画をする場合には、事前予約を止め、配布日時を指定し(土日等)、伐採木が無くなり次第終了する等、配布方法を再検討する必要がある。



昨年度に引き続き、笹倉ダム貯水池内の立木伐採に伴い大量に発生する伐採材について、資源 の有効活用・処分費用の削減・工事のイメージアップ等を兼ね、その一部を一般の人に配布した。



#### 〇配布方法〇

広報期間:4月21日(金)~5月12日(金)

配布期間:5月13日(土)、14日(日) AM 9:00~PM 4:00 配布場所:ひだまりパークみと スポーツ交流広場駐車場 (末口10cm以上の幹材(L=1.8m)を、配布場所へ高さ1m程度に平積み)

- 積込み、運搬作業に係る費用は希望者が負担
- ·事前受付はせず、伐採材が無くなり次第終了

←左のポスター及び案内ビラを益田市内の各地区振興センター (全20筒所)に配布。

また、旧美都町内では防災無線により広報を行った。 今回、悪天候にもかかわらず多くの方が引取りに来られ、約60 mの伐採材を配布することができた。



伐採木の使用目的を尋ねたところ、前回同様風呂焚き用の薪とする人が最も多かった。 キノコのほだ木としては時期が過ぎていたため需要は無かったが、薪ストーブ、炭焼きの材料とし て引取られる方もおられた。

## 〇今後の課題〇

伐採材を引取りに来られた方の中には、県や市の助成を受けて自治 会で炭焼き釜・五右衛門風呂を造ったという人もおられた。

このような木材を引取り・使用してもらえる施設の情報を、データベー ス化する等して共有することができれば、より有効活用することができ るではないかと思う。

